

世界に誇る舞踏カンパニー「大駱駝艦」が「えんぶり」と出会う！

やいやいと申したりやい
雪の匂いに ジャンギの音
すって うねつて ふんで ふるえる
えんぶり摺りの藤九郎が
まいりて あそびて 願いてそらろろ

大駱駝艦 舞踏公演

おじよ
藤九郎さま

大地にかたどる幾重の足あと
ざっず ざっず
朝もやの向こう 生命のこんせき
亡き人歌う 鼓膜の声は
親が子おもう 八百年の祈り
東西東西
生まれて踊って死んでく祝いに
松の葉をば手に持ちて
白き世界を
祝うてかざるものかなと

振付・演出・美術

田村一行

出演

田村一行

塩谷智司

若羽幸平

小林優太

我妻恵美子

高桑晶子

鈴木奈緒美

藤本 梓

音楽
上井啓輔

衣裳
富永美夏

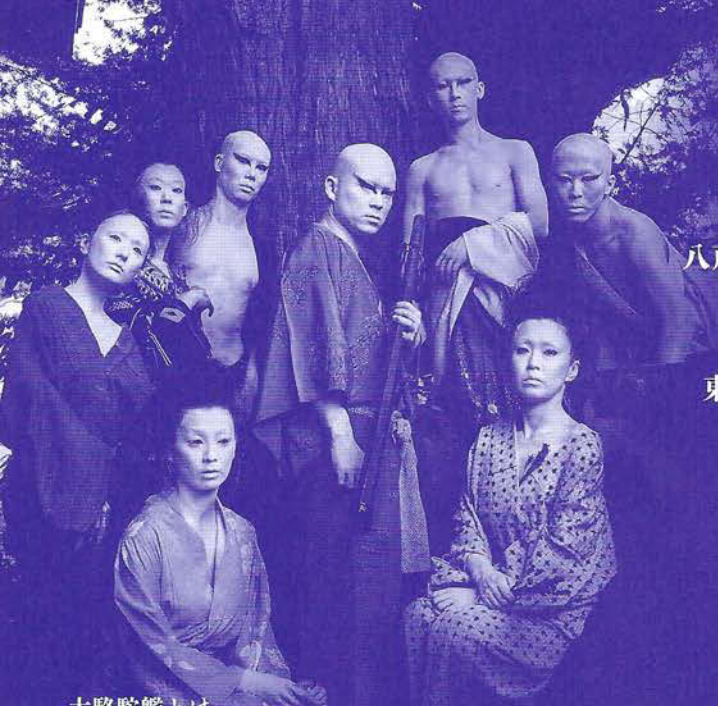
制作
山本 良

監修

磨赤兒

主催 | 八戸市、株式会社アート&コミュニティ(八戸市南郷文化ホール・八戸市公会堂・八戸市公民館指定管理者) 助成 | 一般財団法人地域創造 企画制作協力 | 大駱駝艦 協力 | 荒谷えんぶり組、石鼓腰藏、小坂勝義

世界に誇る舞踏カンパニー「大駱駝艦」が「えんぶり」と出会う！



大駱駝艦の舞踏手・田村一行が、

八戸地方を代表する民俗芸能「えんぶり」を

八戸市南郷区に約400年前より伝わる荒谷えんぶり組に教わり、

独自の解釈を加え、新たな舞踏作品を創作、上演します。

東北の風土や文化に根ざして誕生した「えんぶり」と「舞踏」。

それぞれの持つ不思議なエネルギーとパワーによって

見たこともない幻想的な世界が広がります！

南郷文化ホールでのプレミア公演、必見です！

大駱駝艦とは

1972年、鷹赤兒(まるあかじ)によって旗揚げされた舞踏カンパニーです。その様式を「天賦典式(てんぷてんしき) (この世に生まれ入ったことこそ大なる才能とす)」と名付け、世界各国で作品を発表、「舞踏界」を牽引してきました。大駱駝艦の踊りの根本にある考えや方法は、広く芸術の世界に通底し、幅広いジャンルの人々に影響を与え続けています。田村一行(たむらいつこう)は、1998年大駱駝艦に入艦、2002年より自らの作品の創作を開始。2008年には文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。舞踏の特性を活かしたワークショップは、子供から高齢者、様々な分野のアーティストまで、幅広く好評を得ています。

えんぶりとは

青森県八戸地方を代表する民俗芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されており、青森冬の三大まつり、みちのく五大雪まつりに数えられています。えんぶりは、その年の豊作を祈願するための舞で、太夫と呼ばれる舞手が馬の頭を象った華やかな烏帽子を被り、頭を大きく振る独特の舞が大きな特徴です。その舞は、稲作の一連の動作である、種まきや田植えなどの動作を表現したものです。

日時：2014年10月5日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場：八戸市南郷文化ホール

料金：一般＝前売1,500円／当日2,000円

学生＝前売1,000円／当日1,500円

中学生以下無料(要整理券)※全席自由

取扱先：八戸市南郷文化ホール、八戸市公会堂、八戸ポータルミュージアムはっち

JCDNダンスリザーブWEB ※当日精算 <http://dance.jcdn.org/>

南郷アートプロジェクトメール ※当日精算 75info@nangoartproject.jp

◎アフタートーク

公演終演後、約20分のアフタートーク開催。

出演：鷹赤兒(大駱駝艦主宰) + 田村一行



写真：白鳥真太郎(鷹赤兒)、松田純一(田村一行)

シャトルバス 南郷文化ホールへの無料シャトルバスを運行します。

★要整理券・先着54名、チケット取扱先でお申込みください。

【往路】八戸市庁前バス停(13:00発) → 南郷文化ホール(13:30着)

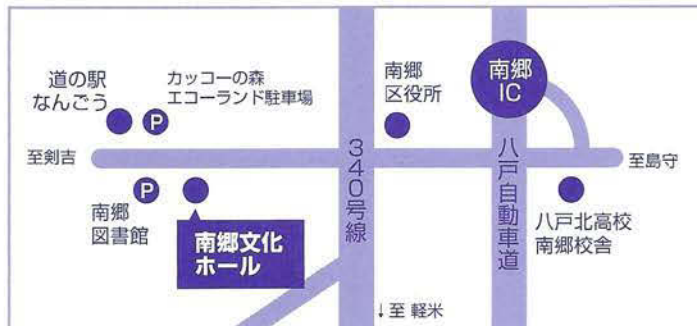
【復路】公演終了後に発車。八戸市庁前バス停着

問合せ：八戸市南郷文化ホール

〒031-0111 八戸市南郷区大字市野沢字中市野沢24-1

TEL：0178-60-8080 Mail：75info@nangoartproject.jp

※休館日(毎週月曜日但し、祝日等に当たる場合は翌日火曜日)を除く、午前9時から午後5時までにご連絡ください。



◎駐車場：道の駅なんごう、南郷図書館駐車場をご利用ください。



▶ 南郷アートプロジェクト2014

八戸市南郷区を舞台に展開されるアートによるまちづくりです。南郷の日常の暮らしの中にアートが持つ視点をとりにいれながら、「身体がオドル、心がオドル、あなたとオドルこと」を実践します。